

第14回 日本の次世代 リーダー養成塾

問い合わせ先: **日本の次世代リーダー養成塾**

専務理事・事務局長 加藤 暁子

(携帯: 090-1113-3914)

〒107-0062 東京都港区南青山5-12-28-403

Tel: 03-5466-0804 Fax: 03-5466-0842

塾期間中(7月25日～8月7日)の事務局連絡先は

福岡県宗像市グローバルアリーナのクラブハウス内

直通電話0940-35-7153/7154

FAX 0940-35-7155

混沌とした時代 日本とアジアの高校生が 「アジア・ハイスクール・サミット」で 「争い」を乗り越えて リーダーとしていかに生きていくか いじめ問題から環境、紛争・戦争まで徹底的に議論

「日本の次世代リーダー養成塾」は、一般社団法人日本経済団体連合会の榊原定征会長を塾長に日本だけでなく、世界に通用する人材育成を目指した、高校生のための2週間のサマースクールです。経済界や地方自治体から日本の将来を背負って立つ人財の育成を目指し、2004年に開塾、今年で14回目を迎えます。卒塾生は今年で2433人となる予定で、日本や世界を舞台にそれぞれの夢を追いかけて活躍をしています。

【日本の高校生に加え、アジア5カ国から高校生が参加】

今年の塾開催期間は7月25日(火)から8月7日(月)で、福岡県宗像市のグローバルアリーナと佐賀県波戸岬少年自然の家で行います。参加者は、書類選考と面接で選抜された全国22都道府県・米国、カナダから集う日本の高校生175人に加え、「アジア奨学生」として、5カ国(中国、マレーシア、モンゴル、タイ、韓国)から16名の高校生を無償で招待し、合計191人の高校生が2週間寝食を共にします。アジア奨学生の招待については、一般社団法人東京倶楽部と独立行政法人国際交流基金のご支援をいただいております。

【一流講師の講義・グループディスカッション・民間企業の精鋭によるクラス担任制度】

塾では、日本や世界を代表する学者、経済人ら各界を代表する一流の講師が講義を行います。講師は、マレーシア元首相のマハティール・モハマド氏、医師・作家の鎌田實氏、お茶の水女子大学長の室伏きみ子氏、株式会社ぐるなび代表取締役会長の滝久雄氏、中村ブレイス株式会社代表取締役社長の中村俊郎氏、青山学院大学特別招聘教授の榊原英資氏らの講師が全国の高校生に将来の指針を与えます。

講師の講義を踏まえ、講義後90分のクラス別のグループディスカッションを行います。ディスカッションを積み重ねることで、学問のおもしろさを追求するとともに、リーダーとして必要な多面的な思考力や分析力、決断力を養います。クラス担任は協賛企業から派遣された社会人が務めます。キャリア教育の時間も設け、近々学生を卒業し、社会へ出る自分のイメージを膨らませます。また、塾生を指導する大学生のボランティアは卒塾生らが務めます。さらに1部屋20人の2段ベッドによる共同生活を通して、自己管理能力を養います。

【アジア・ハイスクール・サミット2017】

塾の大きな取り組みの一つとして、日本人の高校生とアジアの高校生と一緒に2週間かけて議論するプロジェクト型のプログラム「アジア・ハイスクール・サミット」を行います。



「争い」を乗り越えて～私たちはリーダーとしていかに生きていくか～。これが今年のテーマです。

今、私たちを取り巻く世界はかつてないほど混沌とした「争い」の時代に突入しています。遠い国の出来事と思っていた戦争が、北朝鮮のミサイル問題で、自分たちの町に落ちてくるかもしれないと、面接で答える高校生が多くいました。また、テロ行為も、世界のいたるところで毎日起こり、無実の人々が突然命を落としています。旅行中に遭遇するかもしれません。中東では、殺戮が日常的に行われ、難民が欧州などに押し寄せています。日本でも昨年、障がい者施設で19人の方が殺される事件が発生しました。これもテロと言えます。「平和は当たり前」は、今や当然のことではなくなりました。

環境問題もある意味、人間が自然に対して行っている「争い」と言えます。飽くなき消費文化を追求するあまり、異常気象が年々ひどくなり、私たちの身近でもPM2.5の問題や、冬のドカ雪、梅雨の豪雨、夏の異常な暑さ、海水の温度が上がって魚が捕れなくなるなど影響が深刻化しています。

身近には、いじめの問題があります。いじめられた人が、追い詰められて加害者になることもあります。いじめの問題は昔からあり、一向に無くならないので、永遠のテーマと言っても過言ではありません。

リーダーたる者、自分が生き抜くことだけを考えるのではなく、迷わず人を助けなくてはなりません。そのためには、深い知識を持ち、冷静な頭「Cool Head」と温かい心「Warm Heart」で対処しなければリーダーとしては務まりません。

そこで「アジア・ハイスクール・サミット」では、身近な問題から世界を取り巻く問題まで解決しなければならないテーマを塾生が設定し、問題を分析し、どうしたら解決できるのかを、高校生の柔らかい頭で考えてもらいます。

戦争はなくなった方がいいと古今東西、誰しも考えていますが、戦争や紛争は激化しています。戦争に走る政治家を選んでいるのも私たち人間です。人間は理性を備えている動物と言われていますが、いじめられている人に対して見て見ぬふりをし、戦争で人を殺す行為に対して理由をつけて正当化しています。同様に、解決できない問題は、人間同士のいじめや戦争だけではありません。自然環境や動物を巻き込む問題も山積しています。

今の世界で起きている事象は、政治・経済・宗教など様々な要因が複雑に絡み合っています。塾生には、このサミットを通して、第三者としてではなく、地球で暮らす一員である当事者として考え、広く、世界に目を向けて、人々が平和に幸せに生きるためには、どうしたらいいのかという仮説を立ててもらいます。どんな状況下でも人として何をなすべきかをじっくり考え、自分ならどうするか、そしてリーダーとしてどうするのかを、具体的にグループごとに提案してもらいます。

8月6日（日）午前、日本に見習えという「ルック・イースト政策」を国是としたマレーシアのマハティール元首相の前で、「アジア・ハイスクール・サミット」で至った結論を英語で発表して、マハティール氏に講評をいただきます。そして、「混沌とした時代、争いをなくすために、次世代リーダーが果たす役割」と題して、20年以上首相を務め、数々の国際紛争や経済危機を克服したマハティール氏に次世代へのメッセージを託していただきます。マハティール氏は今年7月で92歳。現在、汚職疑惑に揺れるマレーシア政権にノーを突きつけるため新党を結成。秋にも予定されている総選挙に野党連合の代表として臨みます。

【宗像大社見学】

7月28日（金）は、今年7月に世界遺産登録が決定した「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の中心となる宗像大社辺津宮（総社）を見学し、日本の歴史を学び、日本古来の文化を守り伝えることの重要性、日本人として海や里、山の恵みに感謝し、環境を大切にすることを学びます。また、その前日の7月27日（木）には、宗像大社宮司の葦津敬之氏が「宗像の世界遺産への取り組み」と題して講義します。

【幕末の佐賀藩と武士道、日本と朝鮮半島の交流史を学ぶ佐賀フィールドトリップ】

7月28日（金）～31日（月）は、佐賀にて幕末の佐賀藩と武士道、日本と朝鮮半島の交流史を学びます。今年は、従来の佐賀県立名護屋城博物館見学に加えて、佐賀県立佐賀城本丸歴史館も見学します。

～佐賀県立名護屋城博物館を見学（7月29日）～

佐賀県立名護屋城博物館は、日本列島と朝鮮半島との長い交流の歴史をたどり、双方の交流・友好の推進拠点となることを目指して、豊臣秀吉が朝鮮出兵の際に拠点としたことで知られる肥前名護屋城跡に隣接する位置に1993年に開館しました。このため、双方で相いれない史実は、両論が併記されています。塾では、松尾法博・同博物館学芸課長に講義していただいた上で、日本と朝鮮半島のこれまでの歴史に関する貴重な資料が展示された展示室を見学することで、日本と朝鮮半島がどのような歴史を歩んできたのかを学び、今後の平和のあり方について考えます。また、実際に名護屋城跡を見学し、タブレット端末により当時の名護屋城の様子を再現できる「バーチャル名護屋城」を体験します。

関連したテーマの講師として、同博物館で南北朝鮮の離散家族を描いた短編映画「あの人に逢えるまで」（7月22日日本で公開予定）を鑑賞し、映画プロデューサーの李鳳宇氏が「映画はいつかアナタを助ける」と題して講義します。また、7月30日には、薩摩焼十五代沈壽官氏が、佐賀県立波戸岬少年自然の家で、「伝統を守り現代を表現する」と題して講義します。

～佐賀県立佐賀城本丸歴史館を見学（7月31日）～

佐賀県立佐賀城本丸歴史館では、日本の近代化に貢献した幕末から明治維新期の佐賀の輝かしい時代を検証し、変革の時代を生きた人々のエネルギーに触れます。とりわけ、幕末、第十代佐賀藩主鍋島直正（閑叟）による、長崎警備の任からアームストロング砲など西洋技術による製造を指揮し、また、天然痘を根絶するためにオランダからワクチンを輸入するなど革新的な政策を行った姿に学びます。

同歴史館では、佐賀県知事の山口祥義氏が講義します。また、関連したテーマでは7月30日に、国際日本文化研究センター名誉教授の笠谷和比古氏が佐賀県立波戸岬少年自然の家で講義します。

「日本の次世代リーダー養成塾」期間中の取材にお越しの際は、必ず事前に、以下にご連絡ください。

（連絡先）

○ 塾期間中（7月25日～8月7日）の事務局連絡先

福岡県宗像市グローバルアリーナのクラブハウス内直通電話 0940-35-7153／7154

FAX 0940-35-7155

○ 上記期間以外の事務局連絡先：03-5466-0804 FAX 03-5466-0842

○ 日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長の加藤 暁子の携帯番号は、090-1113-3914です。

【添付資料】

1. 事業概要
2. 講師・講義内容一覧
3. カリキュラム表
4. 塾生概要
5. 塾生学校一覧
6. アジア奨学生概要
7. 役員等名簿

第14回日本の次世代リーダー養成塾 事業概要

1 主催者

日本の次世代リーダー養成塾

塾長：榊原定征／一般社団法人日本経済団体連合会会長

2 開催日程

2017年7月25日（火）～8月7日（月）

3 開催・宿泊施設

グローバルアリーナ（福岡県宗像市吉留46-1）

波戸岬少年自然の家（佐賀県唐津市鎮西町名護屋5581-1）

※自然の家は7月28日（金）～7月31日（月）の3泊4日で宿泊

4 塾生

対象：高校生（1年生～3年生） 191名

内 訳	参画県推薦枠 (北海道、青森県、岩手県、静岡県、岐阜県、和歌山県、愛媛県、 福岡県、佐賀県、福岡県宗像市、同県古賀市、沖縄県うるま市)	121名
	全国からの一般公募枠	54名
	アジア奨学生（中国、マレーシア、モンゴル、タイ、韓国）	16名 [非公募]

5 カリキュラム概要

① 各界を代表する講師陣による講義

● 教養系（哲学、近現代経済・文明史、医学、科学、芸術など）

日本や世界を代表する講師が高校生に知的好奇心を湧かせる講義をします。

● ビジネス系（日本企業の強みと弱み、ビジネスのしくみなど）

世界を相手にビジネスの最先端で日夜活躍する講師が、日本の企業の強みや弱み、ひいては日本の国のあり方を伝えます。

● 国際系（国際問題や外交、国連やNGO活動への理解）

世界に目を向け、日本人としてのアイデンティティを持ち、国際舞台で活躍できる力をつけます。

● 人間学（将来の夢をどう具現化するか、リーダーとしての生き方など）

人生の先達が21世紀の日本を背負って立つ人材に必要なことは何かを語ります。

② 講義後のディスカッション

講義終了後にクラス担任の指導のもと、1クラス約25名によるグループディスカッションを行います。クラス担任は、日本を代表する企業の中堅社員が務めます。

③ プロジェクト型企画「アジア・ハイスクール・サミット」

アジア諸国から16名の高校生を招待し、2週間を通して社会課題の解決に向けた議論を行い、具体案を提言する「アジア・ハイスクール・サミット」を開催します。

④ フィールドトリップ

● 今年7月に世界遺産登録が決定した「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」、その中心となる宗像大社辺津宮（総社）を見学し、日本の歴史を学び、日本古来の文化を守り伝えることの重要性を学びます。

● 佐賀県立名護屋城博物館にて当時の貴重な資料や遺産を見学し、日本列島と朝鮮半島間の歴史を学びます。

● 佐賀県立佐賀城本丸歴史館にて、幕末・維新时期に日本で当時最先端であった佐賀藩の科学技術や、佐賀が輩出した偉人などについて学びます。

第14回日本の次世代リーダー養成塾

講師・講義内容一覧

(敬称略、五十音順)

1. ^{あかし やすし} 明石 康 / 元国連事務次長、公益財団法人国際文化会館理事長
「世界の中の日本—もっと外に開く国に」
“Japan in the world – towards a more open, dynamic country”
2. ^{あしづ たかゆき} 葦津 敬之 / 宗像大社宮司
「宗像の世界遺産への取り組み」
3. ^{あそう わたる} 麻生 渡 / 前全国知事会会長、学校法人福岡工業大学最高顧問
「選挙権、女性の大活躍推進そして近現代世界史を学ぶ」
4. ^{おがわ ひろし} 小川 洋 / 福岡県知事
「世界にはばたく！未来のリーダーたちへ」
5. ^{かさや かずひこ} 笠谷 和比古 / 国際日本文化研究センター名誉教授
「武士道の現代的意義—私たちの日常生活の中に生きる武士道—」
6. ^{かまたみのる} 鎌田 実 / 諏訪中央病院名誉院長
「生きているってすばらしい～命・平和・絆を考える～」
7. ^{かわかつ へいた} 川勝 平太 / 静岡県知事
「『枢軸時代の精神革命』とその後—日本文明の位置について—」
8. ^{こてがわ れいじ} 小手川 励人 / フンドーキン醤油株式会社代表取締役副社長
「食品工場（組織）運営で大切なこと」
9. ^{さかきばら えいすけ} 榊原 英資 / 青山学院大学特別招聘教授
「憲法改正問題」
10. ^{たき ひさお} 滝 久雄 / 株式会社ぐるなび代表取締役会長 CEO・創業者、株式会社NKB取締役会長 創業者
「やらなければならないことは、やりたいことにしよう！」
11. ^{ちん じゅかん} 沈 壽官 / 薩摩焼十五代
「伝統を守り現代を表現する」

12. ^{なかむら としろう} 中村 俊郎 / 中村ブレイス株式会社代表取締役社長
「義肢装具作りの半生『新たなアスリートとの出会い』」
13. ^{まつお のりひろ} 松尾 法博 / 佐賀県立名護屋城博物館学芸課長
「佐賀県立名護屋城博物館 24 年の歩み～日本列島と朝鮮半島との交流の歴史～」
14. マハティール・モハマド / マレーシア元首相
「混沌とした世界情勢下でアジアの次世代リーダーが果たす役割」
“What is the role of future leaders in Asia to solve conflicts facing this chaotic world”
15. ^{むとう もりお} 武藤 杜夫 / 日本こどもみらい支援機構代表
「なぜ、少年院で人生が変わるのか？」
16. ^{むろふし こ} 室伏 きみ子 / お茶の水女子大学長
「『研究者』という職業選択～人々が心身ともに健康で暮らせる社会の実現を目指して～」
17. ^{やすだ よしのり} 安田 喜憲 / ふじのくに地球環境史ミュージアム館長、前東北大学大学院環境科学研究科教授、
国際日本文化研究センター名誉教授
「災害と文明：生命文明の時代を招来する」
18. ^{やはら てつかず} 矢原 徹一 / 九州大学大学院理学研究院教授、持続可能な社会のための決断科学センター長
「持続可能な未来のためにどうすれば社会を変えられるか？」
19. ^{やまぐち よしのり} 山口 祥義 / 佐賀県知事
「その時、日本は佐賀を見ていた。佐賀は世界を見ていた。」
20. ^{やまだ たかお} 山田 孝男 / 毎日新聞政治部特別編集委員
「政治とは何か／憲法 9 条問題を手掛かりとして」
21. ^{り ぼんう} 李 鳳宇 / 映画プロデューサー、株式会社 RESPECT 代表取締役
「映画はいつかアナタを助ける」
22. ^{かとう あきこ} 加藤 暁子 / 日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長、
公益財団法人 A F S 日本協会理事長
「激動の時代にリーダーとして生き抜く」

第14回 日本の次世代リーダー養成塾 カリキュラム表（2017年7月25日～8月7日）

敬称略 2017/7/19

		6:00		7:00		8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		20:00		21:00		22:00		23:00	
日	目	日程																																			
1	7/25 (火)															受 付					入塾式	小川 洋 福岡県知事		レポ ート	夕食	加藤暁子 リーダー塾 専務理事・ 事務局長		スタッフ・ 施設紹介		入浴		就 寝 準 備					
2	7/26 (水)			朝食		HR		榊原 英資 青山学院大学特別招聘教授		レポ ート	オリエンテーション 目標設定		昼食		防災訓 練		委員 会		チーム ビルディング		オープニング ディスカッ ション		夕食		アジア学生 プレゼンテーション		HR						就 寝 準 備		就 寝		
3	7/27 (木)			朝食		掃除		キャリア教育		中村 俊郎 中村ブレイス株式会社社長		レポ ート	ディスカッション		昼食				滝 久雄 株式会社ぐるなび 会長 CEO・創業者		レポ ート	麻生 渡 学校法人福岡工業大学 最高顧問		レポ ート	葦津敬之 宗像大社宮司		HR		夕食				就 寝 準 備		就 寝		
4	7/28 (金)	佐 賀	掃除	朝食		荷物 移動		移動		宗像大社・神宝館見学		移動		昼食		鎌田 実 諏訪中央病院名誉院長		レポ ート	移動				荷物 移動		夕食	HR	入 所 式						就 寝 準 備		就 寝		
5	7/29 (土)	佐 賀		朝 の つ ど い	朝食・掃除		移動		松尾 法博 名護屋城博物館 学芸課長		名護屋城博物館 見学		弁当 昼食		名護屋城博物館 見学		映画 鑑賞		李 鳳宇 映画プロデューサー		レポ ート	移動		夕食	HR	アジア・ ハイスクール・ サミット						就 寝 準 備		就 寝			
6	7/30 (日)	佐 賀		朝 の つ ど い	朝食・掃除				笠谷 和比古 国際日本文化研究センター 名誉教授		レポ ート	ビデオ 学習		昼食		昼食	十五代沈壽官 薩摩焼十五代		レポ ート	ディスカッション		レポ ート	夕食	HR	アジア・ ハイスクール・ サミット						就 寝 準 備		就 寝				
7	7/31 (月)	佐 賀	担 任 交 代	掃除	朝食	荷物 移動	移動				山口 祥義 佐賀県知事		佐賀城本丸 歴史館見学	レポ ート	移動	昼食		移動				荷物 移動		夕食	HR		アジア・ ハイスクール・ サミット				就 寝 準 備		就 寝				
8	8/1 (火)			朝食		掃除		書禅		安田 喜憲 ふじのくに地球環境史 ミュージアム館長		レポ ート	ディスカッション		レポ ート	昼食		明石 康 元国連事務次長		レポ ート	ディスカッション		レポ ート	HR	夕食	アジア・ ハイスクール・ サミット						就 寝 準 備		就 寝			
9	8/2 (水)			朝食		掃除		キャリア教育		山田 孝男 毎日新聞政治部特別編集委員		レポ ート	小手川勲人 フンドーキン醤油 株式会社副社長		レポ ート	みそ汁コンテスト		審査発表 片付け				アジア・ ハイスクール・ サミット				夕食	HR					就 寝 準 備		就 寝			
10	8/3 (木)			朝食		掃除		書禅		矢原 徹一 九州大学大学院 理学研究院教授		レポ ート	ディスカッション		レポ ート	昼食		室伏 きみ子 お茶の水女子大学長		レポ ート	ディスカッション		レポ ート	HR	夕食	アジア・ ハイスクール・ サミット						就 寝 準 備		就 寝			
11	8/4 (金)			朝食		掃除		書禅		武藤 杜夫 日本こどもみらい支援機構代表		レポ ート	ディスカッション		レポ ート	昼食		川勝 平太 静岡県知事		レポ ート	アジア・ ハイスクール・ サミット		レポ ート	HR	夕食	アジア・ ハイスクール・ サミット						就 寝 準 備		就 寝			
12	8/5 (土)			朝食		掃除		書禅		アジア・ハイスクール・ サミット発表				サミット ふりか えり		昼食		会場準備		交流会				HR	夕食					就 寝 準 備		就 寝					
13	8/6 (日)			朝食		卒塾後について 幹事選出				AHS 英語 発表		マハティール・モハマド マレーシア元首相		レポ ート	昼食		目標宣言				クロージ ング ディスカ ッション		アンケ ー ト 記入		夕食	卒塾前夜祭		HR				就 寝 準 備		就 寝			
14	8/7 (月)	掃除		朝食		掃除 確認		片づけ 確認		卒塾式		挨拶など		記念 撮影		飲談		帰路へ																			
		6:00		7:00		8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		20:00		21:00		22:00		23:00	

第14回日本の次世代リーダー養成塾 塾生概要

受講者総数 175名(男子 66名・女子 109名) 22都道府県 2ヶ国(アメリカ、カナダ)

○参画県推薦枠 121名(男子53名・女子68名)

合格予定者数				
1	北海道	11 名	(男子 0 名)	(女子 11 名)
2	青森県	11 名	(男子 5 名)	(女子 6 名)
3	岩手県	11 名	(男子 6 名)	(女子 5 名)
4	静岡県	10 名	(男子 4 名)	(女子 6 名)
5	岐阜県	10 名	(男子 7 名)	(女子 3 名)
6	和歌山県	11 名	(男子 5 名)	(女子 6 名)
7	愛媛県	12 名	(男子 6 名)	(女子 6 名)
8	福岡県	23 名	(男子 12 名)	(女子 11 名)
9	宗像市	5 名	(男子 1 名)	(女子 4 名)
10	古賀市	0 名	(男子 0 名)	(女子 0 名)
11	佐賀県	15 名	(男子 6 名)	(女子 9 名)
12	うるま市	2 名	(男子 1 名)	(女子 1 名)
計		121 名	(男子 53 名)	(女子 68 名)

○一般公募枠 54名(男子13名・女子41名)

合格予定者数				
1	群馬県	2 名	(男子 0 名)	(女子 2 名)
2	千葉県	4 名	(男子 1 名)	(女子 3 名)
3	東京都	6 名	(男子 1 名)	(女子 5 名)
4	神奈川県	7 名	(男子 0 名)	(女子 7 名)
5	山梨県	1 名	(男子 0 名)	(女子 1 名)
6	三重県	1 名	(男子 0 名)	(女子 1 名)
7	京都府	1 名	(男子 1 名)	(女子 0 名)
8	大阪府	4 名	(男子 2 名)	(女子 2 名)
9	兵庫県	1 名	(男子 0 名)	(女子 1 名)
10	奈良県	1 名	(男子 1 名)	(女子 0 名)
11	和歌山県	2 名	(男子 2 名)	(女子 0 名)
12	香川県	1 名	(男子 0 名)	(女子 1 名)
13	愛媛県	1 名	(男子 0 名)	(女子 1 名)
14	福岡県	16 名	(男子 5 名)	(女子 11 名)
15	佐賀県	1 名	(男子 0 名)	(女子 1 名)
16	熊本県	2 名	(男子 0 名)	(女子 2 名)
17	沖縄県	1 名	(男子 0 名)	(女子 1 名)
18	アメリカ	1 名	(男子 0 名)	(女子 1 名)
19	カナダ	1 名	(男子 0 名)	(女子 1 名)
計		54 名	(男子 13 名)	(女子 41 名)

第14回日本の次世代リーダー養成塾 塾生学校一覧

22都道府県 2ヶ国(アメリカ、カナダ)、121校

学校所在地	学校名
北海道	北海道札幌あすかぜ高等学校
	北海道札幌西高等学校
	北海道札幌平岸高等学校
	北海道美幌高等学校
	北海道夕張高等学校
	北海道札幌国際情報高等学校
	北海道札幌東商業高等学校
	私立旭川龍谷高等学校
	私立遺愛女子高等学校
青森県	私立立命館慶祥高等学校
	青森県立青森高等学校
	青森県立田名部高等学校
	青森県立八戸高等学校
	私立青森明の星高等学校
	私立青森山田中学高等学校
岩手県	私立八戸工業大学第二高等学校
	岩手県立遠野高等学校
	岩手県立盛岡南高等学校
	岩手県立一関第一高等学校
	岩手県立岩泉高等学校
	岩手県立大船渡高等学校
	岩手県立不来方高等学校
	岩手県立高田高等学校
	岩手県立西和賀高等学校
群馬県	岩手県立盛岡農業高等学校
	私立共愛学園高等学校
千葉県	私立市川高等学校
	私立曉星国際高等学校
東京都	東京都立国分寺高等学校
	私立広尾学園高等学校
	私立自由学園高等科
	私立昭和女子大学附属昭和高等学校
	私立東京純心女子高等学校
神奈川県	私立桐光学園高等学校
	私立慶應義塾湘南藤沢高等部
	私立聖セシリア女子高等学校
	私立洗足学園高等学校
	私立捜真女学校高等部
	私立相模女子大学高等部
山梨県	私立山梨県立甲府南高等学校
静岡県	静岡県立科学技術高等学校
	静岡県立沼津東高等学校
	静岡県立清水東高等学校
	静岡県立静岡農業高等学校
	静岡県立浜松西高等学校
	私立加藤学園暁秀高等学校
	私立静岡学園高等学校
	私立静岡雙葉高等学校
岐阜県	岐阜県立大垣北高等学校
	岐阜県立大垣東高等学校
	岐阜県立可児高等学校
	岐阜県立加茂高等学校
	岐阜県立岐阜高等学校
	岐阜県立中津高等学校
	岐阜県立各務原西高等学校
	私立鶯谷高等学校
	私立城南高等学校
三重県	私立四日市メリノール学院高等学校
京都府	私立洛星高等学校
大阪府	私立関西学院千里国際高等部
	私立四天王寺高等学校
	私立大阪星光学院高等学校
	私立帝塚山学院泉ヶ丘高等学校

学校所在地	学校名
兵庫県	私立三田学園高等学校
奈良県	私立西大和学園高等学校
和歌山県	私立開智高等学校
	私立智辯学園和歌山高等学校
	私立和歌山信愛高等学校
香川県	私立香川誠陵高等学校
愛媛県	愛媛県立大洲高等学校
	愛媛県立宇和島高等学校
	愛媛県立宇和島南中等教育学校
	愛媛県立松山南高等学校
	愛媛県立松山北高等学校
	愛媛県立西条高等学校
	愛媛県立八幡浜高等学校
	愛媛県立今治北高等学校
福岡県	愛媛県立松山東高等学校
	福岡県立朝倉高等学校
	福岡県立糸島高等学校
	福岡県立大牟田北高等学校
	福岡県立輝翔館中等教育学校
	福岡県立北筑高等学校
	福岡県立小倉工業高等学校
	福岡県立修猷館高等学校
	福岡県立城南高等学校
	福岡県立筑前高等学校
	福岡県立東鷹高等学校
	福岡県立戸畑高等学校
	福岡県立福岡高等学校
	福岡県立三池高等学校
	福岡県立山門高等学校
	福岡県立八女高等学校
	福岡県立宗像高等学校
	私立九州国際大学付属高等学校
	私立久留米信愛女学院高等学校
	私立久留米大学附設高等学校
	私立筑紫女学園高等学校
	私立東海大学附属福岡高等学校
	私立福岡海星女子学院高等学校
	私立福岡工業大学附属城東高等学校
	私立福岡大学附属大濠高等学校
	私立福岡雙葉高等学校
	私立福岡舞鶴高等学校
	私立明治学園高等学校
佐賀県	佐賀県立伊万里高等学校
	佐賀県立唐津東高等学校
	佐賀県立佐賀西高等学校
	佐賀県立白石高等学校
	佐賀県立高志館高等学校
	佐賀県立武雄高等学校
	佐賀県立致遠館高等学校
	私立早稲田佐賀高等学校
熊本県	私立東明館高等学校
	熊本県立宇土高等学校
沖縄県	熊本県立熊本高等学校
	沖縄県立球陽高等学校
アメリカ	沖縄県立前原高等学校
	沖縄県立具志川高等学校
カナダ	Hanover High School
	Balmoral Hall School

第 14 回日本の次世代リーダー養成塾 アジア奨学生概要

●奨学生総数 16名（男子6名・女子10名）

1	中国	4 名	(男子 2 名)	(女子 2 名)
2	マレーシア	4 名	(男子 2 名)	(女子 2 名)
3	モンゴル	2 名	(男子 1 名)	(女子 1 名)
4	タイ	2 名	(男子 0 名)	(女子 2 名)
5	韓国	4 名	(男子 1 名)	(女子 3 名)
計		16 名	(男子 6 名)	(女子 10 名)

●奨学生学校一覧(5ヶ国、10校)

学校所在地	学校名
中国	成都外国語学校
	石家荘外国語学校
マレーシア	帝京マレーシア日本語学院
モンゴル	新モンゴル小中高一貫学校
タイ	Chulalongkom university demonstration secondary school
	Suankularb Wittayalai Nonthaburi
韓国	九里女子高等学校
	釜山国際外国語高等学校
	新鼎高等学校
	釜山東成高等学校

主催者からのメッセージ

榑原定征 塾長（一般社団法人 日本経済団体連合会 会長）

世界から信頼され豊かで活力溢れる国を実現することが、日本の目指すべき未来だと思います。そのためには、技術革新はもとより、政治、経済、社会など、国民生活全般にわたるイノベーションを進め、旧来の制度や慣行に捉われず、新しい変革を起こしていく必要があります。同時に、グローバル化の中で、日本の強みを世界に積極的に発信するとともに、海外の活力を取り込んでいくことが重要です。

このことは、若きリーダーの存在と活躍抜きには成し得ません。日本、そして世界を舞台に活躍する若者が「新しい日本を創り、世界に挑戦する」との強い気概を持ち、困難にも果敢に挑むことで、日本の進むべき道が切り開かれていくものと確信しています。

次代を担う高校生の皆さんには、本塾で同じ志を持つ仲間と切磋琢磨し、教養を深め、視野を広げ、様々な課題に真正面から取り組んでいただきたいと思います。そして、未来を担うリーダーとしての強固な礎を構築されることを心より願っております。



「日本の次世代リーダー養成塾」役員等名簿

（五十音順）

塾長	榑原 定征／一般社団法人日本経済団体連合会会長
塾長代理	榑原 英資／青山学院大学特別招聘教授
筆頭理事	小川 洋／福岡県知事
理事	浅野 史郎／神奈川大学特別招聘教授
理事	麻生 渡／前全国知事会会長・学校法人福岡工業大学最高顧問
（顧問兼務）	
理事	石原 進／九州旅客鉄道株式会社相談役
理事	榎本 一彦／福岡地所株式会社取締役会長
理事	川勝 平太／静岡県知事
理事	小島 順彦／三菱商事株式会社相談役
理事	高橋 温／三井住友信託銀行株式会社特別顧問
理事	高橋 はるみ／北海道知事
理事	滝 久雄／株式会社ぐるなび代表取締役会長 CEO・創業者 株式会社NKB取締役会長 創業者
理事	達増 拓也／岩手県知事
理事	谷井 博美／福岡県宗像市長
理事	張 富士夫／トヨタ自動車株式会社相談役
理事	中村 時広／愛媛県知事
理事	仁坂 吉伸／和歌山県知事
理事	橋田 紘一／株式会社九電工相談役
理事	古田 肇／岐阜県知事
理事	松尾 新吾／九州電力株式会社相談役
理事	溝上 泰弘／株式会社ミズホールディングス代表取締役会長
理事	三村 申吾／青森県知事
理事	宗政 寛／株式会社サニックス代表取締役社長
理事	山口 祥義／佐賀県知事
専務理事	加藤 暁子
（事務局長兼務）	
監事	薬真寺 偉臣／九州電力株式会社取締役常務執行役員